

マイ・タイムライン作成講習会（常陸大宮市）を実施（報告）

～マイ・タイムライン作成指導のための職員向け講習会～

実施日時 令和2年9月18日（金）13時30分～15時30分

実施場所 常陸大宮市役所会議室

参加者 常陸大宮市役所職員（各部署） 43名

■概要

常陸大宮市役所内の教育、福祉、消防など様々な部門の職員43名が自らマイ・タイムラインの作成を体験することにより、今後住民向けに開催する「マイ・タイムライン」作成講習会等での支援を行うとともに、市民が行う防災行動を把握し、実際の洪水時において市民の安全かつ円滑な避難に役立てることを目的として講習会を実施しました。

本講習会は本年1月にとりまとめた「久慈川緊急治水対策プロジェクト」「那珂川緊急治水対策プロジェクト」にも位置づけられている取組の一つとなっています。

（参加者からの主な意見等）

- ・ハザードマップが良く周知されていないため、まずはその周知が重要。
- ・普段から危険な場所に住んでいるという認識が必要。
- ・避難対象者が多くなると行政の力が及ぶ範囲は限られてくるため、住民の自助、共助を強化していく必要があると感じた。
- ・市民がマイ・タイムラインをつくることによって、早くから避難をする人が出てくるかもしれない。その対応の検討も必要。
- ・地域の方の危機感の醸成や動機付け、意識向上のため、浸水想定区域に指定されている各地区等でハザードマップの周知やマイ・タイムラインの勉強会の実施などが重要。
- ・避難メールや防災行政無線などを活用し、また消防団などと連携をとって早目の避難を促すことが必要。
- ・高台で周りが浸水で物資を届けられない避難所については、避難路の整備、対応を考える必要。
- ・通行止め等で市内の避難所の方に逃げられない地区などもあるので、周辺の自治体との連携、広域的な避難のことも考えておくことが必要。
- ・消防団への要請などする際には明るうちに、早目の連絡が必要。

■実施状況



水害リスクについて（常陸大宮市）



マイ・タイムライン作成講習



マイ・タイムライン作成講習会（発表）

